

視聴者のご質問にも回答します

「かぶミニ」活用！

NISA「手作りファンド」投資戦略

楽天証券経済研究所 チーフ・ストラテジスト
窪田 真之

ご注意事項

本資料は、勉強会の為に作成されたものであり、有価証券の取引、その他の取引の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料及び資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料及び資料にある情報の使用による結果について、当社は何らの責任を負うものではありません。

本資料で記載しております価格、数値、金利等は概算値または予測値であり、諸情勢により変化し、実際とは異なる場合がございます。また、本資料は将来の結果をお約束するものではなく、お取引をなさる際に実際に用いられる価格または数値を表すものでもございませんので、予めご了承くださいませようをお願いいたします。

国内株式のリスクと費用について

■国内株式 国内ETF／ETN 上場新株予約権証券（ライツ）

【株式等のお取引にかかるリスク】

株式等は株価（価格）の変動等により損失が生じるおそれがあります。上場投資信託（ETF）は連動対象となっている指数や指標等の変動等、上場投資証券（ETN）は連動対象となっている指数や指標等の変動等や発行体となる金融機関の信用力悪化等、上場不動産投資信託証券（REIT）は運用不動産の価格や収益力の変動等、ライツは転換後の価格や評価額の変動等により、損失が生じるおそれがあります。※ライツは上場および行使期間に定めがあり、当該期間内に行使しない場合には、投資金額を全額失うことがあります。

●レバレッジ型、インバース型ETF及びETNのお取引にあたっての留意点

上場有価証券等のうち、レバレッジ型、インバース型のETF及びETN（※）のお取引にあたっては、以下の点にご留意ください。

- ・レバレッジ型、インバース型のETF及びETNの価額の上昇率・下落率は、2営業日以上の場合、同期間の原指数の上昇率・下落率に一定の倍率を乗じたものとは通常一致せず、それが長期にわたり継続することにより、期待した投資成果が得られないおそれがあります。
- ・上記の理由から、レバレッジ型、インバース型のETF及びETNは、中長期間的な投資の目的に適合しない場合があります。
- ・レバレッジ型、インバース型のETF及びETNは、投資対象物や投資手法により銘柄固有のリスクが存在する場合があります。詳しくは別途銘柄ごとに作成された資料等でご確認ください。またはコールセンターにてお尋ねください。

※「上場有価証券等」には、特定の指標（以下、「原指数」といいます。）の日々の上昇率・下落率に連動し1日に一度価額が算出される上場投資信託（以下「ETF」といいます。）及び指数連動証券（以下、「ETN」といいます。）が含まれ、ETF及びETNの中には、原指数の日々の上昇率・下落率に一定の倍率を乗じて算出された数値を対象指数とするものがあります。このうち、倍率が+（プラス）1を超えるものを「レバレッジ型」といい、-（マイナス）のもの（マイナス1倍以内のものを含みます）を「インバース型」といいます。

【信用取引にかかるリスク】

信用取引は取引の対象となっている株式等の株価（価格）の変動等により損失が生じるおそれがあります。信用取引は差し入れた委託保証金を上回る金額の取引をおこなうことができるため、大きな損失が発生する可能性があります。その損失額は差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。

【株式等のお取引にかかる費用】

国内株式の委託手数料は「超割コース」「いちにち定額コース」の2コースから選択することができます。

国内株式のリスクと費用について

〔超割コース（現物取引）〕

1回のお取引金額で手数料が決まります。

取引金額	取引手数料
5万円まで	50円（55円）
10万円まで	90円（99円）
20万円まで	105円（115円）
50万円まで	250円（275円）
100万円まで	487円（535円）
150万円まで	582円（640円）
3,000万円まで	921円（1,013円）
3,000万円超	973円（1,070円）

※（）内は税込金額

超割コース大口優遇の判定条件を達成すると、以下の優遇手数料が適用されます。大口優遇は一度条件を達成すると、3ヶ月間適用になります。詳しくは当社ウェブページをご参照ください。

〔超割コース 大口優遇（現物取引）〕

1回のお取引金額で手数料が決まります。

取引金額	取引手数料
10万円まで	0円
20万円まで	100円（110円）
50万円まで	238円（261円）
100万円まで	426円（468円）
150万円まで	509円（559円）
3,000万円まで	806円（886円）
3,000万円超	851円（936円）

※（）内は税込金額

〔超割コース（信用取引）〕

1回のお取引金額で手数料が決まります。

取引金額	取引手数料
10万円まで	90円（99円）
20万円まで	135円（148円）
50万円まで	180円（198円）
50万円超	350円（385円）

※（）内は税込金額

〔超割コース 大口優遇（信用取引）〕

約定金額にかかわらず取引手数料は0円です。

国内株式のリスクと費用について

〔いちにち定額コース〕

1日の取引金額合計（現物取引と信用取引合計）で手数料が決まります。

1日の取引金額合計	取引手数料
100万円まで	0円
200万円まで	2,000円（2,200円）
300万円まで 以降、100万円増えるごとに1,100円追加。	3,000円（3,300円）

※（）内は税込金額

※1日の取引金額合計は、前営業日の夜間取引と当日の日中取引を合算して計算いたします。

※一般信用取引における返済期日が当日の「いちにち信用取引」、および当社が別途指定する銘柄の手数料は0円です。これらのお取引は、いちにち定額コースの取引金額合計に含まれません。

〔かぶミニ™（単元未満株の店頭取引）にかかるリスクおよび費用〕

リスクについて

かぶミニ™の取扱い銘柄については市場環境等により、取扱いを停止する場合があります。

費用について

1回のお取引金額で手数料が決まります。

取引区分	取引手数料
買い	0円
売り	11円（税込）

かぶミニ™（単元未満株の店頭取引）は、当社が自己で直接の相手方となり市場外で売買を成立させます。そのため、取引価格は買付時には基準価格に一定のスプレッド（差額）を上乗せした価格、売却時には基準価格に一定のスプレッド（差額）を差し引いた価格となります（1円未満の端数がある場合、買付時は整数値に切り上げ、売却時は切り捨て）。なお、適用されるスプレッドは当社ウェブサイトにて開示していますが、相場環境の急変等により変動する場合があります。

●カスタマーサービスセンターのオペレーターの取次ぎによる電話注文は、上記いずれのコースかに関わらず、1回のお取引ごとにオペレーター取次ぎによる手数料（最大で4,950円（税込））を頂戴いたします。詳しくは取引説明書等をご確認ください。

●信用取引には、上記の売買手数料の他にも各種費用がかかります。詳しくは取引説明書等をご確認ください。

●信用取引をおこなうには、委託保証金の差し入れが必要です。最低委託保証金は30万円、委託保証金率は30%、委託保証金最低維持率（追証ライン）が20%です。委託保証金の保証金率が20%未満となった場合、不足額を所定の時限までに当社に差し入れていただき、委託保証金へ振替えていただくか、建玉を決済していただく必要があります。レバレッジ型 E T F 等の一部の銘柄の場合や市場区分、市場の状況等により、30%を上回る委託保証金が必要な場合がありますので、ご注意ください。

国内株式のリスクと費用について

【貸株サービス・信用貸株にかかるリスクおよび費用】

（貸株サービスのみ）

●リスクについて

貸株サービスの利用に当社とお客様が締結する契約は「消費貸借契約」となります。株券等を貸付いただくにあたり、楽天証券よりお客様へ担保の提供はなされません（無担保取引）。（信用貸株のみ）

●株券等の貸出設定について

信用貸株において、お客様が代用有価証券として当社に差入れている株券等（但し、当社が信用貸株の対象としていない銘柄は除く）のうち、一部の銘柄に限定して貸出すことができますが、各銘柄につき一部の数量のみに限定することはできませんので、ご注意ください。

（貸株サービス・信用貸株共通）

●当社の信用リスク

当社がお客様に引渡すべき株券等の引渡し、履行期日又は両者が合意した日に行われなかった場合があります。この場合、「株券等貸借取引に関する基本契約書」・「信用取引規定兼株券貸借取引取扱規定第2章」に基づき遅延損害金をお客様にお支払いいたしますが、履行期日又は両者が合意した日に返還を受けていた場合に株主として得られる権利（株主優待、議決権等）は、お客様は取得できません。

●投資者保護基金の対象とはなりません

貸付いただいた株券等は、証券会社が自社の資産とお客様の資産を区別して管理する分別保管および投資者保護基金による保護の対象とはなりません。

●手数料等諸費用について

お客様は、株券等を貸付いただくにあたり、取引手数料等の費用をお支払いいただく必要はありません。

●配当金等、株主の権利・義務について（貸借期間中、株券等は楽天証券名義又は第三者名義等になっており、この期間中において、お客様は株主としての権利義務をすべて喪失します。そのため一定期間株式を所有することで得られる株主提案権等について、貸借期間中はその株式を所有していないこととなりますので、ご注意ください。（但し、信用貸株では貸借期間中の全部又は一部においてお客様名義のままの場合もあり、この場合、お客様は株主としての権利義務の一部又は全部が保持されます。）株式分割等コーポレートアクションが発生した場合、自動的にお客様の口座に対象銘柄を返却することで、株主の権利を獲得します。権利獲得後の貸出設定は、お客様のお取引状況によってお手続きが異なりますのでご注意ください。

貸借期間中に権利確定日が到来した場合の配当金については、発行会社より配当の支払いがあった後所定の期日に、所得税相当額を差し引いた配当金相当額が楽天証券からお客様へ支払われます。

国内株式のリスクと費用について

●株主優待、配当金の情報について

株主優待の情報は、東洋経済新報社から提供されるデータを基にしており、原則として毎月1回の更新となります。更新日から次回更新日までの内容変更、売買単位の変更、分割による株数の変動には対応していません。また、貸株サービス・信用貸株内における配当金の情報は、TMI（Tokyo Market Information；東京証券取引所）より提供されるデータを基にしており、原則として毎営業日の更新となります。株主優待・配当金は各企業の判断で廃止・変更になる場合がありますので、必ず当該企業のホームページ等で内容をご確認ください。

●大量保有報告（短期大量譲渡に伴う変更報告書）の提出について

楽天証券、または楽天証券と共同保有者（金融商品取引法第27条の23第5項）の関係にある楽天証券グループ会社等が、貸株対象銘柄について変更報告書（同法第27条の25第2項）を提出する場合において、当社がお客様からお借りした同銘柄の株券等を同変更報告書提出義務発生日の直近60日間に、お客様に返還させていただいているときは、お客様の氏名、取引株数、契約の種類（株券消費貸借契約である旨）等、同銘柄についての楽天証券の譲渡の相手方、および対価に関する事項を同変更報告書に記載させていただく場合がございますので、予めご了承ください。

●税制について

株券貸借取引で支払われる貸借料及び貸借期間中に権利確定日が到来した場合の配当金相当額は、お客様が個人の場合、一般に雑所得又は事業所得として、総合課税の対象となります。なお、配当金相当額は、配当所得そのものではないため、配当控除は受けられません。また、お客様が法人の場合、一般に法人税に係る所得の計算上、益金の額に算入されます。税制は、お客様によりお取り扱いが異なる場合がありますので、詳しくは、税務署又は税理士等の専門家にご確認ください。

今日のポイント

「かぶミニ」でできること

= 機関投資家と同じ **ポートフォリオ運用**

= 私がファンドマネージャー時代にやってきた

ことをそのまま、皆様に伝えられる

日本株 1株から買える

【1】 ポートフォリオが組める

10万円 50銘柄 の分散投資も可能に

高リスク成長株「**ちょっと買う**」がやりやすく

値がさ株（株価1万円）も買える

【2】 きめ細かなりバランスができる

1つの銘柄を **5回に分けて買う** が可能に

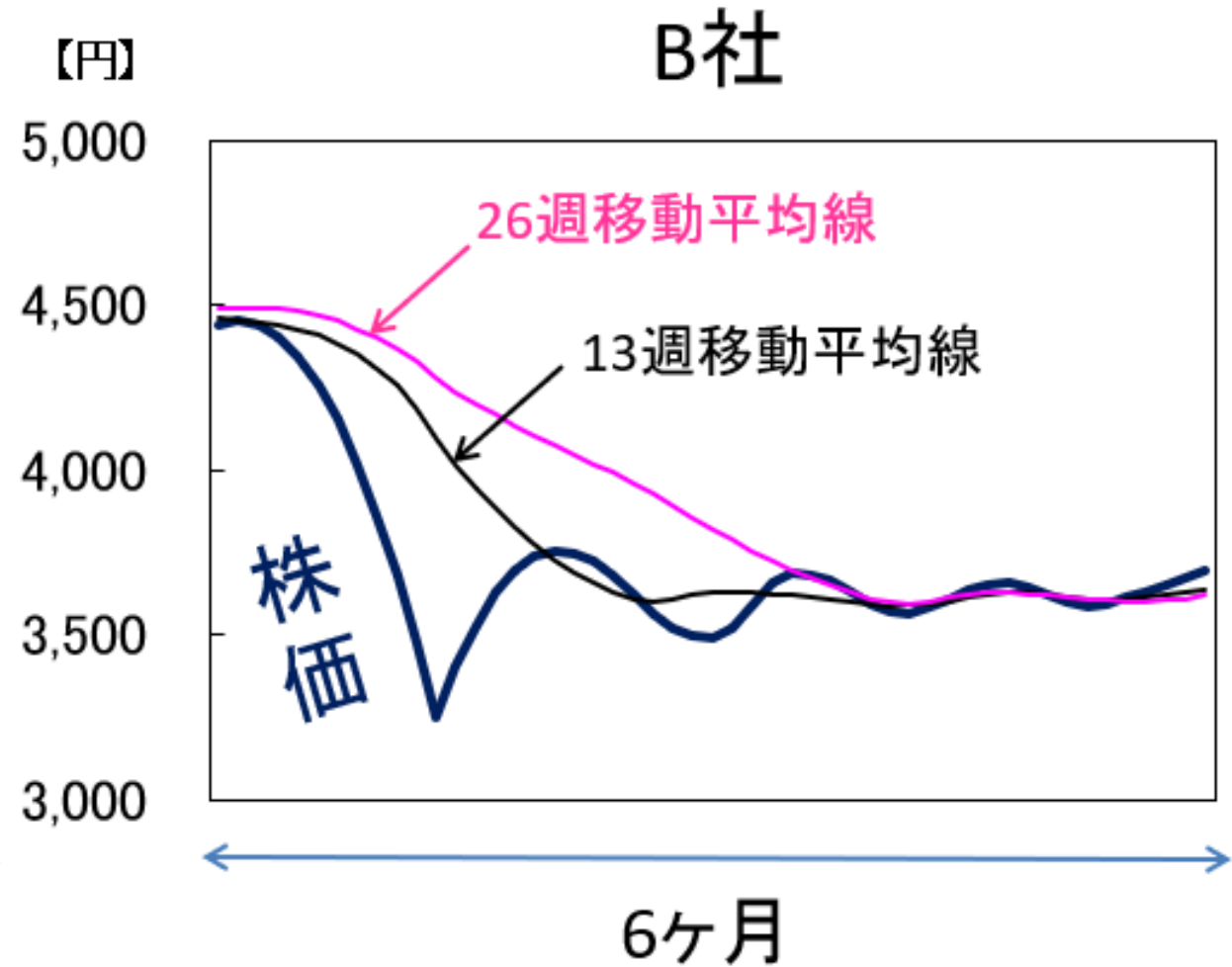
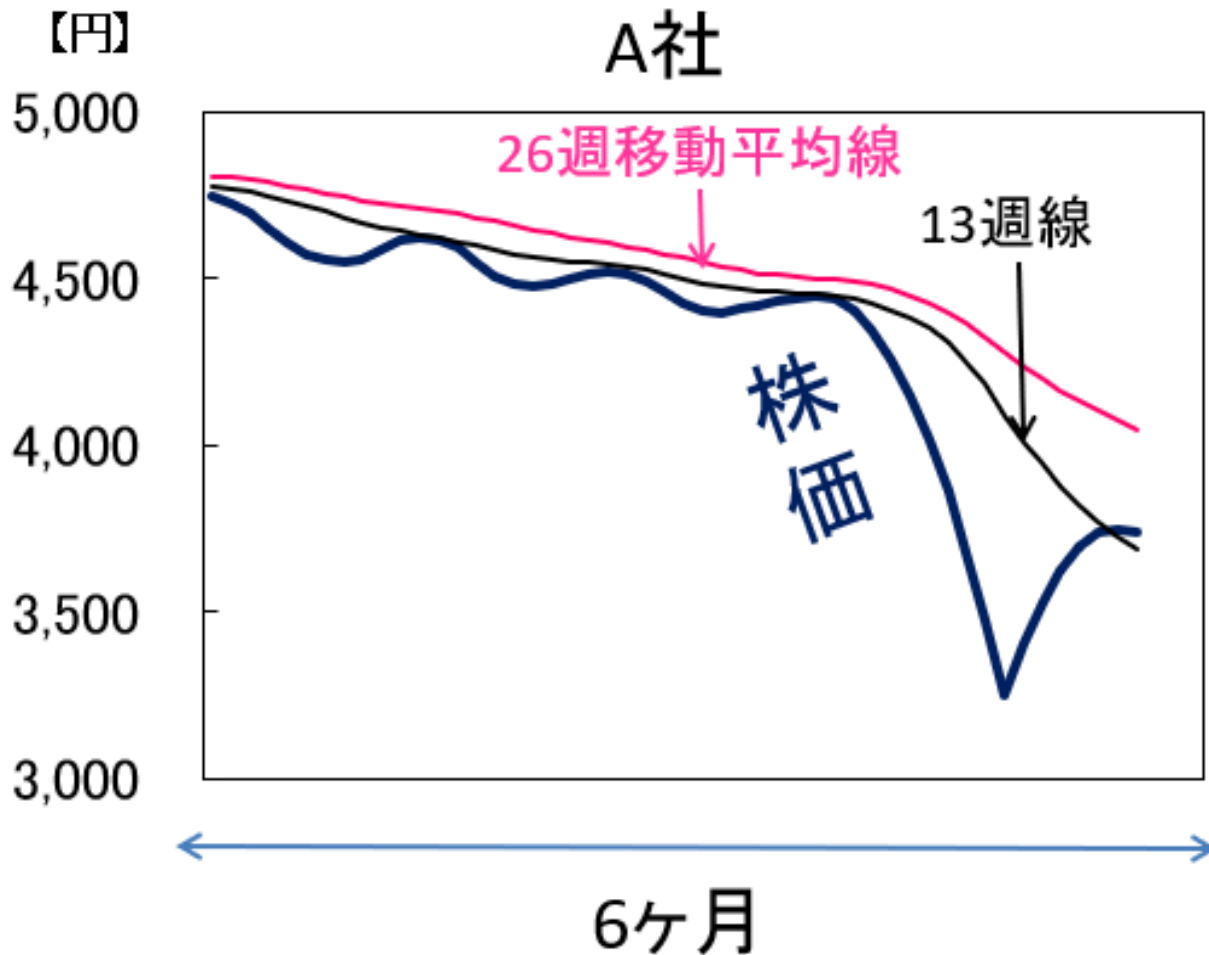
売りが得意に 悪材料→「**ちょっと売る**」やりやすい

戦略的 **損切り・益出し** やりやすく

クイズ！ 以下A社・B社

5回に分けて買った方が良いのは、どっち？

(出所：筆者作成)



手作り 「高配当利回りファンド」

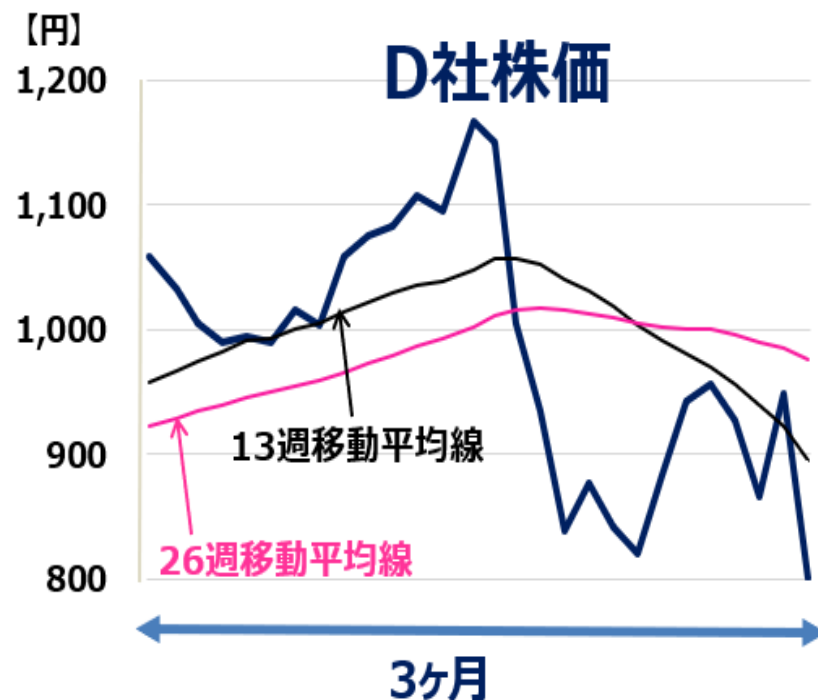
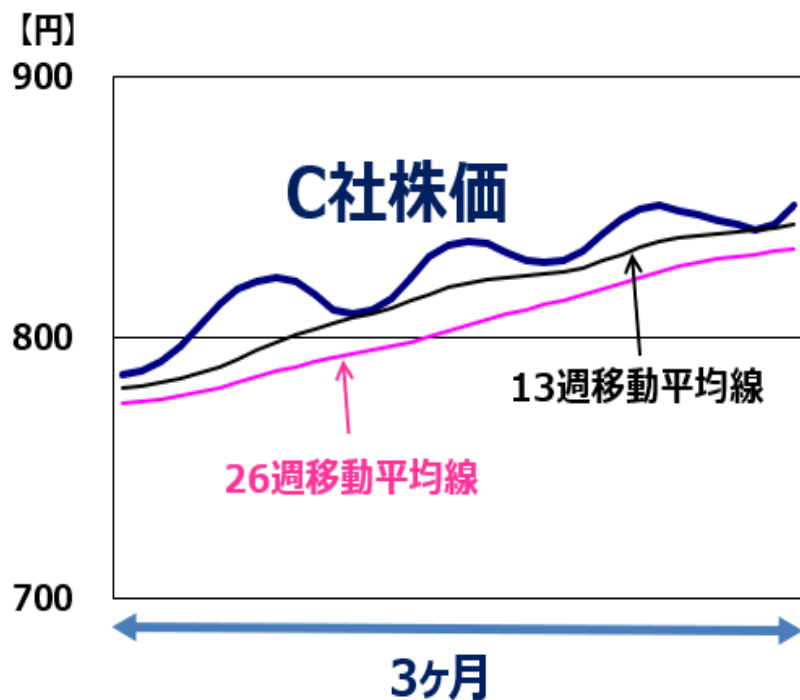
つくり方 リバランスの仕方

クイズ！

高配当 利回り C社・D社

	C社	D社
(a) 株 価	850円	800円
(b) 1株当たり配当金 (今期会社予想)	40円	52円
予想配当利回り (b) ÷ (a) ×100	4.7%	6.5%
株式時価総額	5兆2980億円	281億円

買うなら、 どっち？



(出所：筆者作成)

高配当利回り株の選び方 = 減配リスクの低い銘柄が良い
見かけ上の高利回りにひっかからないように

【条件 1】 時価総額 大きい

【条件 2】 財務内容 良好

【条件 3】 収益基盤 安定

【条件 4】 経営陣が利益還元積極的に

時価総額大きい（数兆円）銘柄

財務そんなに悪くない・収益力そんなに悪くない

自社株買いをよくやる会社 利益配分に積極的

「ダウの犬」 戦略を応用

【1】 NYダウ採用銘柄（30）の

配当利回り上位10 銘柄に等金額投資

【2】 1年後に リバランス

配当利回り上位10から外れた銘柄を売却

配当利回り上位10に新規に入った銘柄を購入

「コア30」 配当利回り上位 1-5

株価1万円以下から選別

No	コード	銘柄名	業種	配当利回り	株価:円 4月6日	1株当たり 配当金:円
1	9434	ソフトバンク	通信	5.7%	1,508.0	86
2	8411	みずほFG	銀行	4.5%	1,896.0	85
3	8316	三井住友FG	銀行	4.3%	5,291.0	230
4	4502	武田薬品工業	医薬品	4.1%	4,397.0	180
5	8766	東京海上HD	保険	3.9%	2,538.0	100

(出所：配当利回りは1株当たり配当金（会社予想）を4月6日株価で割り算出、1株当たり配当金は株式分割を反映して修正済。上記銘柄は手法説明のために掲載、必ずしも推奨銘柄ではない)

「コア30」 配当利回り上位 6-10

株価1万円以下から選別

No	コード	銘柄名	業種	配当利回り	株価:円 4月6日	1株当たり 配当金:円
6	8058	三菱商事	商社	3.8%	4,688.0	180
7	8306	三菱UFJFG	銀行	3.8%	833.7	32
8	7267	本田技研工業	自動車	3.5%	3,451.0	120
9	8031	三井物産	商社	3.4%	3,942.0	134
10	8001	伊藤忠商事	商社	3.4%	4,109.0	140

(出所：配当利回りは1株当たり配当金（会社予想）を4月6日株価で割り算出、1株当たり配当金は株式分割を反映して修正済。上記銘柄は手法説明のために掲載、必ずしも推奨銘柄ではない)

「コア30」 配当利回り上位 11-15 株価1万円以下から選別

No	コード	銘柄名	業種	配当利回り	株価:円 4月6日	1株当たり 配当金:円
11	9433	KDDI	通信	3.3%	4,049.0	134
12	4503	アステラス製薬	医薬品	3.1%	1,925.5	60
13	9432	日本電信電話	通信	3.0%	3,939.0	120
14	7974	任天堂	ゲーム	3.0%	5,250.0	160
15	4063	信越化学工業	化学	2.5%	3,942.0	100

(出所：配当利回りは1株当たり配当金（会社予想）を4月6日株価で割り算出、1株当たり配当金は株式分割を反映して修正済。上記銘柄は手法説明のために掲載、必ずしも推奨銘柄ではない)

ダウの犬 ポートフォリオ

銘柄名	配当利回り	業種	株価	投資株数	投資金額	投資比率
ソフトバンク	5.7%	通信	1,508.0	3	4,524	10.4%
武田薬品工業	4.1%	医薬品	4,397.0	1	4,397	10.1%
みずほFG	4.5%	銀行	1,896.0	2	3,792	8.7%
三井住友FG	4.3%	銀行	5,291.0	1	5,291	12.2%
三菱UFJ FG	3.8%	銀行	833.7	5	4,169	9.6%
東京海上HD	3.9%	保険	2,538.0	2	5,076	11.7%
三菱商事	3.8%	商社	4,688.0	1	4,688	10.8%
三井物産	3.4%	商社	3,942.0	1	3,942	9.1%
伊藤忠商事	3.4%	商社	4,109.0	1	4,109	9.5%
本田技研工業	3.5%	自動車	3,451.0	1	3,451	7.9%
合計	4.1%			18	43,439	100.0%

63%

37%

ダウの犬

NISA用

銘柄名	配当利回り	業種	株価	投資株数	投資金額	投資比率
ソフトバンク	5.7%	通信	1,508.0	80	120,640	10.1%
武田薬品工業	4.1%	医薬品	4,397.0	27	118,719	9.9%
みずほFG	4.5%	銀行	1,896.0	63	119,448	10.0%
三井住友FG	4.3%	銀行	5,291.0	23	121,693	10.1%
三菱UFJFG	3.8%	銀行	833.7	144	120,053	10.0%
東京海上HD	3.9%	保険	2,538.0	47	119,286	9.9%
三菱商事	3.8%	商社	4,688.0	26	121,888	10.2%
三井物産	3.4%	商社	3,942.0	30	118,260	9.9%
伊藤忠商事	3.4%	商社	4,109.0	29	119,161	9.9%
本田技研工業	3.5%	自動車	3,451.0	35	120,785	10.1%
合計	4.1%			504	1,199,933	100.0%

60%

40%

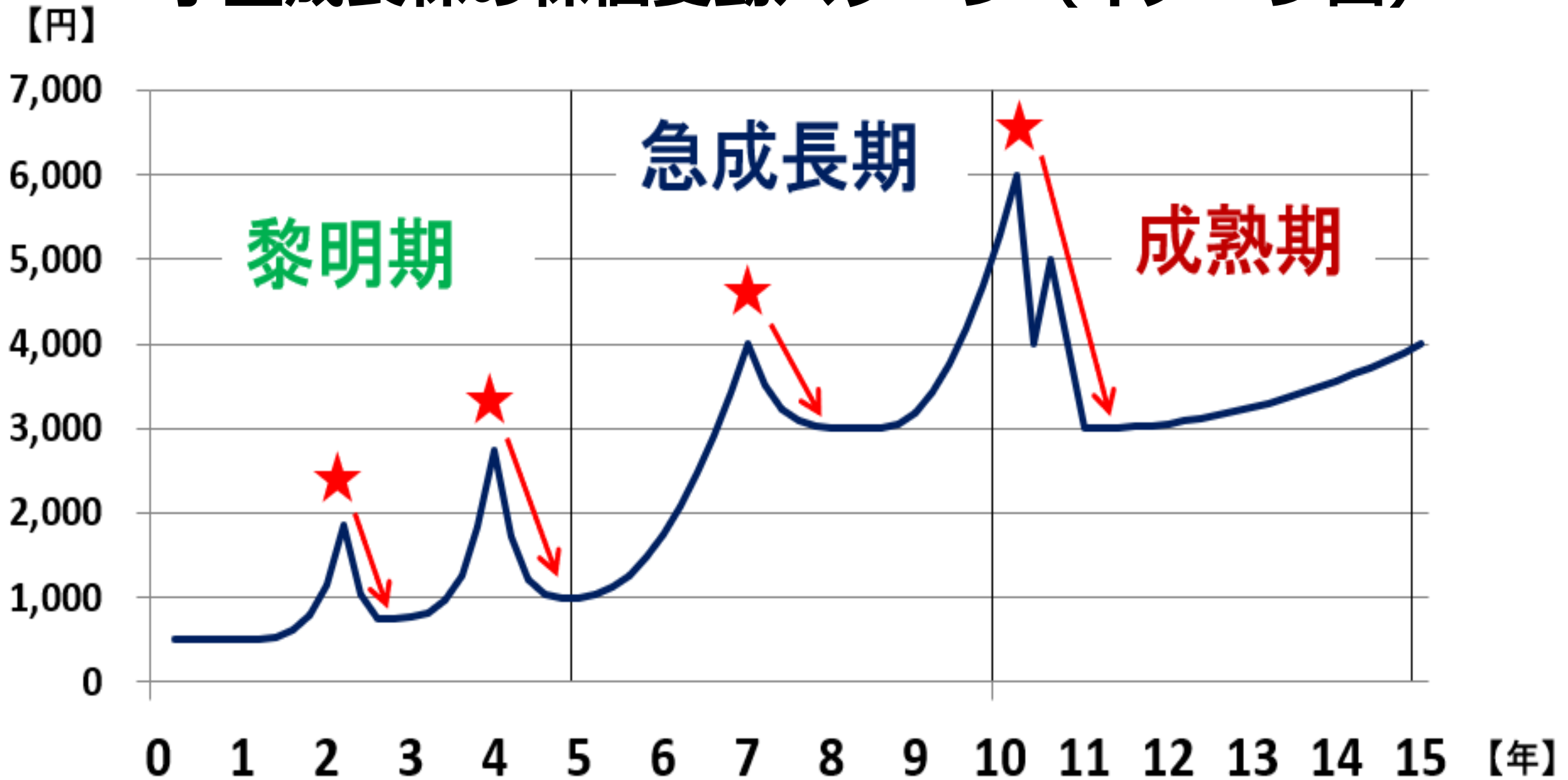
**<21世紀> 良質なサービスが
恒常的に不足**

医療・介護・保育・防犯・防災・
物流・建設土木・コンサル・エンタメ・・・

良質なサービスを安価に大量供給する企業が成長

AI・IoT・SNS・5G・ロボット・・・

小型成長株の株価変動パターン（イメージ図）



(出所：筆者作成)

2024年新NISA：株式投資枠が年240万円に拡大

2024年に始まる新NISA	
成長投資枠 (一般NISA後継)	つみたて投資枠
年間の拠出可能額	240万円
非課税となる期間	無期限
生涯投資枠：上限	成長投資枠 + つみたて投資枠 1800万円
	うち 成長投資枠 1200万円

両方できる

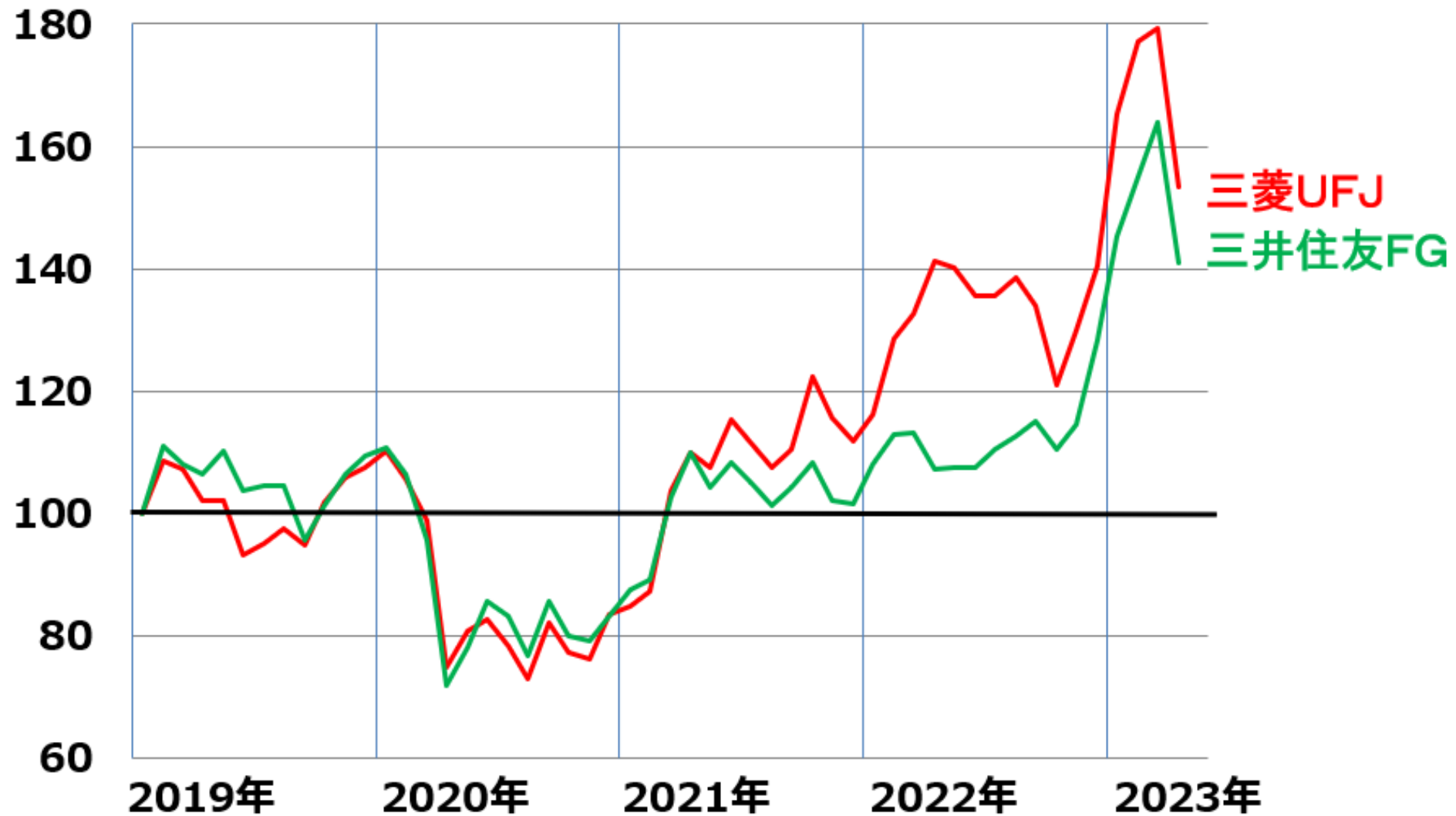
(出所：楽天証券作成)

三菱UFJ・三井住友FG

の株価どうなる？

欧米の銀行不安は「対岸の火事」？

三菱UFJ FG ・ 三井住友FG 株価比較



(出所：QUICKより作成、2018年1月末=100、2023年3月末まで)

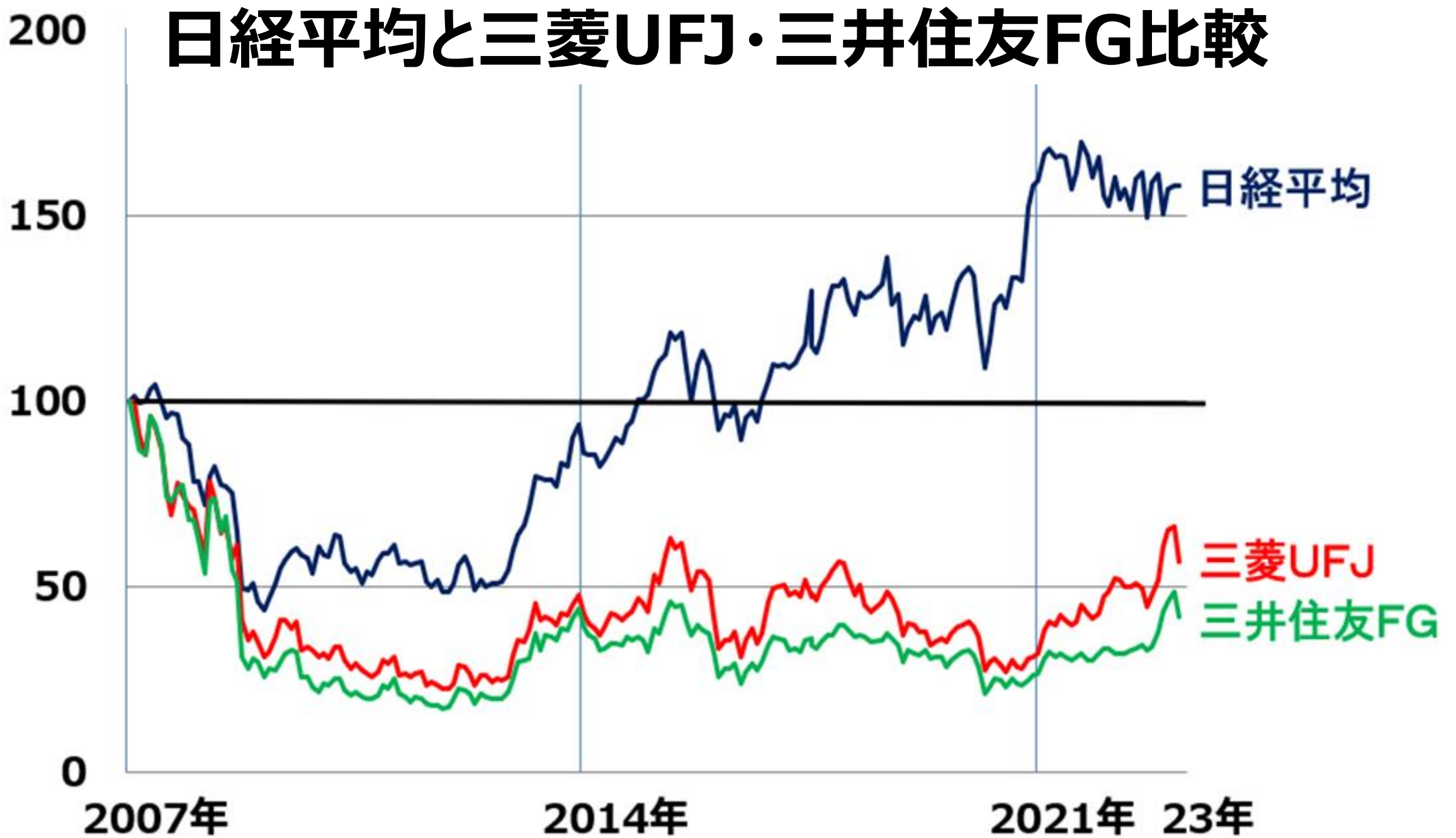
株価指標

2023年4月6日時点

コード	銘柄名	株価：円	配当利回り	PER：倍	PBR：倍
8306	三菱UFJ FG	833.7	3.8%	10.0	0.59
8316	三井住友 FG	5,291.0	4.3%	9.1	0.56

(出所：配当利回りは 2022年3月期1株当たり配当金・会社予想を3月28日株価で割って算出。
1株当たり配当金は三菱UFJ32円、三井住友230円；筆者は三井住友FG株を9000株保有)

日経平均と三菱UFJ・三井住友FG比較



(出所：QUICKより作成、2007年1月末=100、2023年3月末まで)

日米の長期（10年）金利推移



(出所：QUICK 2022年3月末まで)

連結純利益 推移

【1】海外拡大
【2】ユニバーサルバンク
経営

によって、低金利でも
高収益を確保

銘柄名	三菱UFJ FG	三井住友 FG
2014年3月期	9,848	【最高益】 8,353
2015年3月期	【最高益】 1兆 337	7,536
2016年3月期	9,514	6,466
2017年3月期	9,264	7,065
2018年3月期	9,896	7,343
2019年3月期	8,726	7,266
2020年3月期	5,281	7,038
2021年3月期	7,770	5,128
2022年3月期	【最高益】 1兆 1,308	7,066
2023年3月期	【会社目標】 1兆	【会社予想】 7,700

(出所：両社決算資料)

銀行の利ザヤ 構成要素

貸付金利

信用スプレッド

個人・中小企業

大

大企業

小

住宅ローンは

大企業並みの高信用

長短金利スプレッド

預金金利

三菱UFJは、M&A 巧者

【1】 リーマンショック直後、モルガンスタンレーに出資

【2】 2021年にMUFGユニオン・バンクの売却決定

【3】 タイのアユタヤ銀行

インドネシアのバンクダナモン 傘下に

1株当たり配当金推移

(出所：両社決算資料)

銘柄名	三菱UFJ FG	三井住友 FG
2017年3月期	18円	150円
2018年3月期	19円	170円
2019年3月期	22円	180円
2020年3月期	25円	190円
2021年3月期	25円	190円
2022年3月期	28円	210円
2023年3月期	【会社予想】 32円	【会社予想】 230円

欧米金融不安、日本への影響は？

金利急騰で、外債に巨額の評価損 2022年末時点

	有価証券含み益 (純額)	うち 国内株式	うち 外国債券
三菱UFJFG	8,009億円	2兆5,261億円	▲1兆5,711億円
三井住友FG	1兆4,308億円	1兆7,573億円	▲8,533億円

(出所：両社決算資料、三菱UFJの外国債券評価損は、ヘッジポジション等勘案後では約1兆円。
三井住友FGも外債についてはヘッジ取引も使ってリスク量をコントロール)

日本の長期（10年）金利と、東証・銀行株指数推移



今日のまとめ

「かぶミニ」でできること

= 機関投資家と同じ **ポートフォリオ運用**

【1】 ポートフォリオが組める

【2】 きめ細かなりバランスができる

手作り **「高配当利回りファンド」** を紹介

Q&A

ご質問にお答えします